

恥ずかしい思い出

新座市立東北小6年

谷口 宗介 12 (新座市)

「走る」はたくさんあります。速く進むことの走る、目標に向かつて走る、きん張が走るなどがあります。今回は、速く進むことについて面白い思い出を書きます。

ようち園に行っていたころ、お父さんと走る練習を公園でしていました。そして走っている時、「もっと手をふって走って」と言われました。その時ぼくは、あろうことか、手を顔の高さにもってきいて、バイバイしながら走ったのです。お父さんは、ふざけていると思ったのか、「ちやんとして」と言いました。けれどこっちはまじめなのでお父さんとはけんかしました。

もう今思い出すとはずかしい。あのころの自分は何やってんだと思います。